

令和2年 2月29日

大阪府教育委員会
教育長 酒井 隆行 様

少年自然の家共同事業体
代表者
大阪市東淀川区東中島1丁目20番14号
公益財団法人 大阪ユースホステル協会
会長 平岡 龍人

令和2年度大阪府立少年自然の家の事業計画書等の提出について

大阪府立少年自然の家指定管理者募集要項に基づき下記のとおり提出します。

記

- | | |
|------------|------------------|
| 1. 事業計画書 | 別紙1「事業計画書」のとおり |
| 2. 収支計画書 | 別紙2「収支計画書」のとおり |
| 3. 管理体制計画書 | 別紙3「管理体制計画書」のとおり |

1. 事業計画

1. 事業運営方針（年間管理運営目標）

- 関係法令を遵守する。特に個人情報保護、情報管理、労働管理においては規定を設けて運営する。
- 創意工夫やノウハウを活用し、合理的かつ効率的な業務実施に努める。
子どもたちの、知・徳・体にわたる「生きる力」を育むための体験活動をさらに充実させ、学校団体を中心とした大規模団体への利用を促進する。
事業は、近年の傾向と施設の役割をふまえて実施する。
訪日外国人向けの体験プログラム開発により、訪日学校団体のさらなる誘致をすすめる。
- 施設内外の環境を快適、衛生的に保ち、安全な利用をすすめる。
施設管理・維持管理を計画的に行う。厨房は衛生管理マニュアルに基づき徹底した管理を行う。
- イベント企画や広報等ソフト面のサービスの向上により、閑散期の利用者数の増加を図る。
SNSによる広報を充実させる。インスタグラムのフォロワー数1,000人超えを目指す。
無料 Wi-Fi の有効範囲の拡大と広報の強化により、大学生や勉強合宿などの利用を獲得する。
- 「教育コミュニティづくり推進事業」の一環として府内の子どもたちに自然の家のプログラム体験をしてもらう活動（出前講座）をさらに推進する。
新たなプログラム開発とスタッフのスキルアップを図る。

2. 管理運営業務および自主事業の実施計画及び業務目標

ア. 管理運営業務

○利用受付業務

- ・利用受付業務は電話や FAX で行い、家族利用や継続利用している団体等には手続きの簡略化を図る。また、時間外にも申込みが出来るような仕組みをすすめる。
- ・インフォメーションや記入用紙などはホームページでダウンロードできるようにする。

○利用団体の指導等に関する業務

- ・利用当日までに施設の利用のイメージや流れを理解していただくために事前の相談打ち合わせは専任の職員が綿密に行う。また、団体の担当者には事前下見をかねての無料体験会を実施し、参加をすすめる。
- ・利用者が活動プログラムの実施に不安がある場合、スタッフが当日アドバイスを行ない、適切な資料を準備するなど、利用者の目的が達成できるように指導および支援を行なう。

○利用促進に向けた施設サービスの向上

- ・ホームページをリニューアルする。「自然」「体験」「食」など、施設の特徴をわかりやすく紹介するとともに、スマートフォン対応を実施。
- ・早朝および夜間利用の対応、閑散期の貸切りなど柔軟に対応する。
- ・利用団体のプログラムの多様化に対応し、基本のサービスに追加するオプションサービスを設定し、利便性を図る。
- ・青少年団体向けに、初めての利用や指導者が不在の場合でも安心して利用ができるように、団体向け「おすすめパックプログラム」を提案する。
- ・ホームページや施設内に閲覧可能な QR コードを配置し、必要な時にインフォメーションが確認できるようにする。また、施設の利用法やニュースなどを動画で紹介するなど、誰が見ても理解しやすいインフォメーションを取り入れる。
- ・大阪観光局や近隣施設との連携により、訪日外国人団体の宿泊及び日本文化体験の場として自然の家の利用促進を図る。
- ・直営の食堂の機能を活かし、パーティや謝恩会など特別食提供の機会を増やす。
- ・「森のコスプレ」に続く、施設利用増につながる新たな取組みを模索する。また、既存の事業において企業や団体とタイアップする事で、施設の知名度を上げるとともに新たな客層の利用につなげる。
- ・利用者アンケートや聞き取りにより、評判の良い施設への見学を実施し、ノウハウを取り入れることで、さらにサービスの向上を図る。

イ. 主催・自主事業の実施計画

社会教育施設としての設置目的に合致した運営を行う。子どもたちの「生きる力」を育

む様々なプログラムを提供していく。

近年の傾向として要望の多い「幼児向け」「ファミリー向け」「初心者向けキャンプ」など、ニーズに対応した事業を実施する。

新たな取り組みとして、子ども達が家族とともに災害の知識を学習し、自らの命を守る力を身につけるための「防災キャンプ」を実施する。

青年からシニアまでの年齢層にも親しみを持って利用してもらえるように「大人向けのプログラム」をさらに展開していく。

事業内容

主催事業の実施

①新たな教育課題への対応

●災害に備える支援事業

子どもが家族とともに災害の知識を学習し、いざという場合に自らの命を守る力を身につける。

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
防災キャンプ	9/12	15 家族 60 名	9 月の防災月間に向けた事業。南海トラフ地震や集中豪雨による子どもたちが家族とともに学習し、いざという場合の対応方法を学習することで、子どもたち自らが、自分の安全を守る力を身につける。

②長期宿泊体験

●長期宿泊自然体験推進事業「子どもワイルドキャンプ」

体験活動を通して、自主性を養い仲間作りやコミュニケーション能力を高めていく。

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
長期宿泊自然体験活動 子どもワイルドキャンプ	8/9-15	小学 4 年生～6 年 生 24 人	自然の家と和泉葛城山周辺の豊かな自然を利用し活動する。仲間作りゲーム、ツリーハウス、野外炊飯、登山などの自然体験活動を行い「生きる力ー知・徳・体のバランスのとれた力」を育む野外宿泊体験活動など

●「中高生チャレンジキャンプ」

中学生～高校生を対象に、自らの意思で考え、仲間との団結、野外生活や自然の中で生き抜く知恵などを育む。

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
中高生チャレンジキャンプ	8/1-4	中学生～ 高校生以上 10人	小集団活動を通じ、自然の中での冒険活動。シェルター作り、野外泊、野外料理、課題解決ゲームなど

③読書活動と結びついた自然体験の推進

●自然と絵本のコラボレーション事業「絵本でいただきます」

子どもたちに五感を意識して使う機会を与え、絵本を作る喜びを体験する。

子育て中の親同士が活動を通して、新たな情報交換の場を提供する。

↓

子どもたちに五感を意識して使う機会を与え、想像力を育み、食を通じて絵本への興味関心を高める。子育て中の親同士が活動を通して、新たな情報交換の場を提供する

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
自然と絵本のコラボレーション	5/31	子どもを含む家族 15家族 60人	自然の家の豊かな自然の中、絵本の世界感を活かした自然の中での調理体験を行い、食と絵本を結びつけ想像力を養う。

●自然の中で読書活動推進事業「森の中で読み聞かせ」

恵まれた自然の中で絵本にふれあうことで、子どもの感性を豊かにし、想像力や表現力を育てる。

(オープンデーと共催)

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
自然の中で読書活動 えほんのひろば	11/3 (調整中)	子どもを含む家族 50人	恵まれた自然の息吹の中で絵本を楽しむ場を設ける。専門機関と連携しながら効果的な活動を実施する。

自主事業の実施

●障がいを抱える青少年への支援事業

知的障がいのある子どもとその保護者・家族を対象に、臨床動作法の実習と乗馬を行う。馬とのふれあい体験を通して、家族の絆を深める。また参加家族同士の新たな情報・交流のネットワークを作る。

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
知的障がいのある子どもとその家族のための一日体験 臨床動作法と乗馬体験	10/11	20 家族 60 人	専門機関と連携しながら「遊び体験」と「臨床動作法の講習」を実施する。親子で実習の機会を作り、近隣の乗馬センターを活用し「餌やりや乗馬、引き馬体験」など

●ホテル観賞の夕べ

自然環境や自然に生きる動植物の生態に興味を持ち、驚きや発見をいざなう。

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
環境月間フェスタ ホテル鑑賞の夕べ 3回	6/5.6.7	子どもを含む家族、一般30名 ×3回	環境月間推進事業として自然の家周辺に生息するホテルの観察を行う。自然保護についても考える機会となるように実施する。

●「フォレスト・ジュニア・クラブ(森の学校)」

肉体的、精神的に発達が著しい時期。自然とふれあい、季節に応じたプログラムを行う。自然がもたらす恵みと感動や発見を体感する。

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
フォレスト・ジュニア・クラブ (森の学校) 6回	6/13-14 7/18-19 9/5-6 12/5-6 1/16-17 3/6-7	小学 3・4・5・6 年生 各 24 人	自然観察、生き物観察、ハイキング、キャンプ、ツリーイング、シャワークライミング体験、野外料理など

●ファミリーキャンプ

自然の家の環境を活かし自然体験活動を味わいながら家族との絆を深めつつ、他の家族との交流を図る。

事業名	実施期間	募集対象	実施内容

秋のファミリーキャン プ	9/20-21	15 家族 50 人	自然観察、ハイキング、野外料理、キャンプファイヤー、テントの扱い方をはじめ、野外活動に対する知識、技術、楽しみ方を学ぶ機会を提供する。
-----------------	---------	------------	---

●大阪府アドプトフォレスト

企業等事業者がスポンサーとなり、森林の保全・整備のために間伐や植樹、下草刈りなどの森づくり活動を推進するアドプトフォレスト制度を活用する事業。森林に親しむ機会を提供する。

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
大阪府アドプトフォレス ト	11/14 (調整中)	小学4年生～中学 生を含む家族 50 人	清水建設・大阪府・少年自然の家の 3 者連携契約事業。自然の家の周 囲の森林、竹林を活用し、参加者 が杉や竹の間伐や木登りなどの体 験を実践しながら冒険の森づくり の活動を実施する。

●自然環境・野外活動指導者養成事業

- 1) プログラム体験会
- 2) ツリーイングクライマー養成講座
- 3) プロジェクトラーニングツリー指導者養成講座
- 4) 大阪府教育センター教職員支援事業 オープン講座

青少年の体験活動を指導する人材育成の拠点施設として森林資源を活用した環境教育指導者の養成活動を推進する。

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
1 プログラム体験会	4/4	自然の家を利用予定 の学校教員	ツリーイング講習会やプロジ ェクトワイルド講習会、キャン プ
2 ツリーイングクライ マー資格認定講習 3 回	12/12-13 12/13-14 T-3 は未定	青少年活動・自然 体験活動に興味の ある人、各回 8 名	プ指導者養成講習会など専門 機関連携を進め開催する。野外 活動指導者の育成とプログラ ム開発につなげる少年自然の

3	野外活動指導者講習会(内容調整中)	1/9-10		家のフィールドを生かし、プログラム活動の実践体験を実施する。
4	指導者のための野外活動講習会	日程は決めず4名以上で都度開催	府内の学校教員	

●自然の家専属指導者の育成事業

教育関係や学校現場を目指す大学生のボランティア体験の場として有効。

施設利用団体への支援、主催事業への運営、支援援助

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
自然の家専属指導者の育成事業	4月から翌年3月までの期間 宿泊または日帰り	大学生、専門学校生、社会人、 10名	施設の理解、子どもの理解、安全管理など現任訓練(OJT)、研修を通じて指導者としての資質を高めながら施設利用団体への支援、運営援助、主催事業の企画運営および参加する子どもたちの生活指導、安全管理などに従事。

●近隣市町村との連携支援事業

近隣市町村や子ども会等からの依頼により、体験活動の実施を支援する。

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
近隣市町村との連携支援事業	4月から翌年3月までの期間 日帰り	市町村教育委員会、公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町村主催の青少年育成事業における自然体験活動運営への支援 ・教育コミュニティづくり推進事業「おおさか元気広場(出前講座)」の運営支援 ・子ども育成キャンプへの企画運営支援、共催 ・通学合宿事業への運営支援 ・公民館事業への運営支援 <p style="text-align: right;">など</p>

●インターンシップ(就労体験)推進事業

職業意識の向上と職業選択に役立つ経験のため、近隣の大学からインターンシップ実習生の受入れ、少年自然の家の運営をスタッフとして体験させる。 約10人

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
インターンシップ(就労体験)推進事業	4月から翌年3月までの期間 宿泊または日帰り	大学生、専門学校生	大学等と連携しながら施設の理解を深め、受入れ利用団体への支援、自主事業への参画など、学生に対する教育活動、その目的・方法を明確化するとともに職業人としての資質を高める。

その他の自主事業の実施

●木の実でジャムづくり

食を通じ、暮らしの中で培われた自然と生活の知恵を家族と一緒に学ぶ。

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
木の実でジャム作り	7/6	子どもを含む家族、30名	果実を使って食べ物に加工する過程を体験する

●初めてのダッチオープン

ダッチオープンを用いて家族、グループで野外料理体験を行うことにより、火を扱うノウハウを学ぶとともに屋外で作る野外料理の楽しさを味わう機会を作る。

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
初めてのダッチオープン 3回	12/20 1/23 2/13	10家族 40名	ダッチオープンを使っての季節に応じた野外料理

●家族で遊ぼう ボードゲーム

思考力やコミュニケーション能力の向上に効果があるボードゲーム。アクティブラーニングの学習方法の一つとして注目されている。

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
家族で遊ぼう！ボードゲーム	1/30	子どもを含む家族、30名	家族で世界のボードゲームに挑戦。

●ゴールデンウィーク宿泊・日帰りパック

ファミリーの初めてのキャンプを応援。

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
GW宿泊パック	5/2-6	15 家族 50 名	常設テントで宿泊と炊飯を体験する。
GW日帰りプレイパーク	5/2-6		自然を利用した遊び場で自由に過ごす。

●おとなのための自然体験活動

子どもの頃に経験したような豊かな自然と触れ合うことにより、年齢に関わらず心癒される時間を過ごし、新たな発見や感動体験を味わう。

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
・おとなのえんそく 3回 (指定管理の「シニアわくわく体験塾」「中高年向け健康作りツアー」を「おとなのえんそく」に集約する)	6/20 8/29 11/15	成人、一般 15名	自然観察、野鳥など生き物観察、トレッキング、ツリーイング、間伐体験、野外料理など 専門機関、大学等との連携を模索しながら実施する。
・シルバー生涯学習 DAY	日程は決めずニーズに応じて対応	府内のシルバー世代向け施設など	

●家族で焚き火を楽しもう

火に親しむ機会が無くなりつつある現代。

焚き火を活用した体験プログラムによって親子で自然や環境について学ぶ

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
冬季利用促進事業 家族で焚き火を楽しもう 7回	1/12～ 2/23 まで の毎日曜日 日帰り	家族、一般 50名×7回	焚き火、薪割り体験

●子育て応援します「親子のセミナー」

自然の中で活動することで家族との絆を深める。他の家族との交流も図る。

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
親子 de しぜんのよう ちえん 4回	4/29 6/28 8/23 10/25	子どもを含む家 族 10家族 30名 ×4回	豊かな自然の中、季節に応じたお さんぽ会を開き、子どもの原体験 の促進と、親と子のふれあいの機 会を提供しゆったりとした時間 を味わっていただく。

●クールジャパン推進企画 「コスプレの森」

コスプレは現在、世界に発信される日本文化として、若い世代を中心に非常に高い人気がある。参加者の創作意欲を発揮する場所になると同時に、参加者同士の交流の機会を提供する。

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
コスプレの森 6回	10/3. 4 11/28. 29 12/12. 13 1/23. 24 2/13. 14 日帰り	一般・家族 各回 10名	コスプレの愛好家に、活動 場所の提供(撮影場所、更衣 室など)を行う。

●出会いの場推進事業「森の婚活」

自然体験というキーワードを通じて、アウトドアに興味を持つ男女が集まり交流し、出会いの機会を提供する。

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
森の婚活 1回	9/27	20～40代 20名	自然観察ハイキングとパー ベキューで婚活など。少子 高齢化がすすむ現代社会、 自然と触れ合いながら健全 な出会いの場を提供して実 施する。

●開かれた施設としての地域連携

『奥貝塚ゆったりウォーク』実行委員会

(大阪府泉州農と緑の総合事務所・農事組合法人「奥貝塚・彩の谷」・貝塚観光ボランティアガイド協会・貝塚市環境生活部農林課)との連携。

地域に根ざした施設運営を推進していくために、近隣関係機関・団体との連携し、人的、機関的ネットワークの構築を進めていく。

参加入場者数 500人程度

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
自然の家オープンデー 共催：奥貝塚ゆったりウォーク	11/3 (調整中)	広く一般に開放 自由参加	オープンデー事業。施設を開放し、見学会、プログラム体験会、野外コンサート(音楽祭)、屋台、手作りおもちゃ出店などで連携を図る

●貝塚自然遊学館との連携

自然の家を含む蕎原地域の自然環境についての指導助言を受け自然観察の利用などで連携を推進する。また、検体サンプルの收拾についても協力を行う。

検体協力、野外生物についての助言・相談など

●善兵衛ランドとの連携

星と空のプログラムなど、天体観測や星座観察における指導助言、手作り天体望遠鏡の利用などで連携を推進。

「フォレストジュニアクラブ」での利用

天体望遠鏡など観察器具についての点検

事業計画 (日程は変更になる場合もあり)

4月	プログラム体験会 (4日) 親子deしぜんのようちえん (29日)
5月	ゴールデン宿泊パック (2-6日) 日帰りプレイパーク (2-6日) 絵本事業 (31日)
6月	ホテル観賞の夕べ (5-7日) おとなのえんそく① (20日) フォレストジュニアクラブ① (13-14日) 親子deしぜんのようちえん② (28日)
7月	木の実でジャム作り (6日) フォレストジュニアクラブ② (18-19日)
8月	中高生チャレンジキャンプ (1~4日) こどもワイルドキャンプ (9-15日) 親子deしぜんのようちえん③ (23日) おとなのえんそく② (29日)
9月	フォレストジュニアクラブ③ (5-6日) 防災キャンプ (12日) 秋のファミリーキャンプ (20-21日) 森の婚活 (27日)
10月	コスプレの森② (3.4日) 乗馬体験と臨床動作法 (11日) 親子deしぜんのようちえん④ (25日)
11月	自然の家オープンデー (3日) えほんのひろば (3日) 第17回大阪府アドプトフォレスト (14日) おとなのえんそく③ (28-29日) コスプレの森③ (28.29日)
12月	フォレストジュニアクラブ④ (5-6日) コスプレの森④ (12.13日) ツリーイングクライマー資格認定講習T-1 (12-13日) ツリーイングクライマー資格認定講習T-2 (13-14日) 初めてのダッチオープン① (20日)
1月	PLTファシリテーター養成講座 (9-10日) 焚火を楽しもう① (10日) フォレストジュニアクラブ⑤ (16-17日) 焚火を楽しもう② (19日) コスプレの森⑤ (25日) 初めてのダッチオープン② (25日) 焚火を楽しもう③ (26日) 親子でボードゲームを楽しもう (30日) 焚火を楽しもう④ (31日)
2月	焚火を楽しもう⑤ (7日) 初めてのダッチオープン③ (13日) コスプレの森⑥ (13日) 焚火を楽しもう⑥ (14日) 焚火を楽しもう⑦ (21日) 焚火を楽しもう⑧ (28日)
3月	フォレストジュニアクラブ⑥ (6-7日)

不定期	教員の為の野外活動教室 おおさか元気広場 出前講座 シルバー生涯学習DAY
-----	---

ウ. 業績目標

宿泊数 59,100人 日帰り数 48,100人 合計 107,200人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
宿泊数	6,200	9,200	7,300	7,500	8,000	4,000
日帰り数	6,700	9,800	7,100	5,000	3,400	3,700
合計数	12,900	19,000	14,400	12,500	11,400	7,700
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
宿泊数	4,000	2,300	2,100	1,000	2,000	5,500
日帰り数	4,000	3,000	1,500	900	1,000	2,000
合計数	8,000	5,300	3,600	1,900	3,000	7,500

3. 施設の維持補修

ア. 修繕計画

計画的に設備の管理・更新を実施していく。

- ・中～大規模な修繕箇所を洗い出す。緊急性・危険性の度合いにより優先順位を策定し、長期的な修繕計画(管理作業マニュアル)を作成する。
- ・「施設維持・管理チーム」により、月1回の「施設維持管理会議」を実施。情報を共有し、必要な修繕を行う。
- ・施設設備が適正に機能しない場合には迅速に対応するとともに府に速やかに報告する。

2020年度の設備改善計画

○屋外施設の整備

- ・松枯れ伐採を中心に森林の整備を幅広くすすめる
- ・登山道やハイキングコースの整備をすすめる
- ・道標、オリエンテーション用看板の整備
- ・野外炊飯場やファイヤー場の整備
- ・ツリーイングポイントの整備、機材の充実
- ・アスレチック広場の整備（前年度より継続）

○屋内設備の整備

- ・光熱費の削減のために施設内のLED化を推進
- ・無線Wi-Fi設備の拡充
- ・宿泊室扉等の整備と鍵の取り付け
- ・寝具（マットレスなど）の充実
- ・壁の劣化部分の整備
- ・浴室備品の交換
- ・館内表示の更新
- ・展示物のリニューアル及び整備

イ. 法定点検の実施計画

○敷地及び野外施設整備管理業務

・点検業務

施設点検業務

各研修室、体育館、オリエンテーションホール、宿泊室、アスレチック遊具など、利用者が安全・快適に使用できるように月に1回の自主点検を実施する。

・保守業務

非常ベル、放送設備、避難器具、誘導灯、消火栓、消火器など消防設備等自主点検を毎月実施する。

○建築物、電気設備、機械設備など

- ・業務委託・保守点検実施計画は水準書の通り実施する。

添付資料①参照。

4. 利用促進のための投資計画

○「バーベキューガーデン奥貝塚」の利用促進

概要 自然の家駐車場横広場（現ファミリーキャンプ場）へのバーベキュー場設置

面積 23m×20m 約460㎡

大屋根、バーベキューテーブルあり 100名定員

営業開始 平成30年3月16日

利用目標（宿泊・日帰り含む） 2020年度 利用人数目標 6,180人

利用者層 ファミリー、小グループ、大学生サークル、一般の小団体、小規模の学校や幼稚園団体など

利用促進のための方策

- ・ピザ窯設置や燻製器の貸出しなど、新たなプログラムを提供
- ・自主事業やプログラム体験の実施など
- ・簡単な水場の確保などで夏季キャンペーンの実施
- ・繁忙期における2回転利用の推進
- ・バーベキューメニューや売店商品の拡充
- ・大阪府農と緑の総合事務所と共同でプランクを使ったバーベキューメニュー開発を行う

営業計画 販促ツールの作成（総合パンフへの掲載、専用ちらし、ポスターの作成）

広報媒体への掲載（自然の家のホームページ、大阪府のホームページへの掲載）民間のWEB媒体への掲載・取材依頼など

○「インターネット環境の整備」

- ・宿泊棟におけるWi-Fi受信可能エリアの拡大

5. 情報発信（年間広報計画）

活用ツール

広報媒体

- ・ホームページのリニューアルを実施
- ・ホームページのモバイル版の作成
- ・フェイスブックやインスタグラム等、SNSを利用した広報を実施
- ・ちらしや表示などにキャラクターを活用

・バーベキュー施設の広報

- 民間ウェブサイトへの掲載依頼
- 情報誌への取材、掲載依頼
- オリジナルのメニュー開発やキャンペーンによる利用推進
- 近隣企業などへの重点営業の実施 など

・案内書類の充実

- 実施可能なアクティビティ（クラフトやオリエンテーションなど）の詳しい案内
- 食事や炊飯食材に関する詳しいメニューの作成

6. 利用者サービスの向上(利用者満足度調査実施計画)

- ・利用者の「目的の達成」「利用者の満足度」を調査分析し、顧客満足度の向上を図る。
- ・団体の代表者だけではなく、利用者個々の意見を聞きやすくするため、意見箱の設置や掲示、ホームページの「お客様の声」への掲載などをさらにすすめる。
- ・利用者アンケートや聞き取りにより、評判の良い施設への見学を実施し、ノウハウを取り入れることで、さらにサービスの向上を図る

7. その他

- ・就職困難者層への雇用・就労支援
知的障がい者を清掃業務に継続雇用する。
週一回、障がい者の「施設外就労」として清掃作業を行う。
- ・府民、NPOとの協働の取り組み
教育現場を目指す大学生および社会人のボランティアをリーダーとして登録し、施設の事業および運営のサポート体制をさらに進める。ボランティアリーダーを増やすために、就職活動でアピールできるような工夫を行い、専門家による研修を実施するなど、他のボランティアと差別化を図る。
- ・環境問題への取り組み
ゴミの分別、持ち帰り運動によるゴミの減少をすすめる。施設オリエンテーションを通じて利用者に協力を呼び掛ける。

2. 収支計画書

(1) 収入計画書

項 目	金 額
宿泊部門総収入 ①	79,663,000
食堂部門総収入 ②	100,681,000
管理運営委託費 ③	58,237,000
施設総収入 ④	238,581,000
宿泊部門総支出 ⑤	137,796,444
食堂部門総支出 ⑥	100,483,409
施設総支出 ⑦ (⑤+⑥)	238,279,854
損益 ⑧ (⑦-④)	301,146

(2) 支出計画書

項 目	合計	総収入 対比率	宿泊等部門	食堂等部門
利用料金収入 A	51,360,000	22%	51,360,000	0
食堂収入 B	99,170,000	42%	0	99,170,000
管理運営事業の活動系事業収入 C	22,726,000	10%	22,726,000	0
自主事業収入(活動系事業収入) D	4,796,000	2%	4,796,000	
自主事業収入(バーベキュー場運営) E	2,292,000	1%	781,000	1,511,000
管理運営委託費 F	58,237,000	24%	58,237,000	
総収入 G (A+B+C+D+E+F)	238,581,000	100%	137,900,000	100,681,000
事業費用 H	238,279,854	100%	137,796,444	100,483,409
人件費	97,191,577	41%	67,849,228	29,342,349
本部人件費	6,600,000	3%	3,300,000	3,300,000
光熱水費	25,377,000	11%	16,467,000	8,910,000
消耗品費	3,247,827	1%	3,137,827	110,000
宣伝費	1,166,000	0%	1,166,000	0
宿泊経費/原材料費	65,081,436	27%	12,812,800	52,268,636
修繕費	3,410,000	1%	2,310,000	1,100,000
手数料	135,520	0%	130,020	5,500
委託料	11,975,392	5%	11,975,392	0
公租公課費	11,105,718	5%	6,980,993	4,124,725
賃借料	3,300,000	1%	3,300,000	0
その他	2,851,984	1%	2,829,984	22,000
本部事務費	1,200,000	1%	750,000	450,000
自主事業に係る経費	5,637,400	2%	4,787,200	850,200
損益 (G-H)	301,146		103,556	197,591

(3) うち投資額

バーベキュー関連投資額	1,960,024
累計投資額	9,481,211

収入見込み内訳

施設総収入見込

(1)管理宿泊部門 収入金額 79,663 千円

項目	金額	備考
利用料金収入	小中学生宿泊 17,000	小中学生宿泊 35,200 人
	高校生以上宿泊 23,732	高校生以上宿泊 23,300 人
	日帰り利用 10,360	小中學生日帰り 26,500 人
	テント 268	高校生以上日帰り 20,100 人
	合計 51,360	テント 2,200 人
事業収入他	主催 1,034	
	付帯事業収入 7,766	
	プログラム収入 11,583	
	売店収入 1,463	
	雑収入 880	
	自主事業収入 5,577	
合計 28,303		
総収入	79,663	

食堂等部門 収入金額 100,681 千円

項目	金額	備考
食堂料金収入	朝食 24,000	47,000 食
	昼食 14,000	20,000 食
	夕食 34,470	39,900 食
	その他 7,000	夜食・弁当・ジュース等
	食事代収入計 79,470	
炊飯収入計 19,700		
合計 99,170		
事業収入	自主事業収入 1,511	
総収入	100,681	

3. 管理体制計画

1. 組織体制

添付資料②参照

2. 研修計画

・職員研修

本施設における従事者に対して、職員研修会を実施する。

全体研修

研修内容

- ①ホスピタリティー向上に関する研修
- ②人権啓発に関する研修等
- ③防災に関する研修
- ④AED研修など

研修時期 11～3月

個々の研修

研修内容

- ①新人対象・マナー・ホスピタリティー研修
 - ・青少年教育振興機構等主催の新人職員向け研修
 - ・大阪府主催人権研修 など
- ②食堂スタッフ対象
 - ・衛生管理と食育をテーマにした研修
- ③専任（指導系）スタッフ対象
 - ・ツリーイング講習
 - ・キャンプインストラクター講習
 - ・青少年教育振興機構等主催の施設職員向け研修
- ④その他対象
 - ・先進的な施設への視察を実施
 - ・異業種の事例を参考に施設運営に生かす
 - ・通信教育による自主研修
 - ・保守・管理業務に関する自主研修 など

研修時期 閑散期を中心に随時

・個人情報の保護

「指定管理業務における個人情報保護規定」を適正に運用する。

・情報公開体制

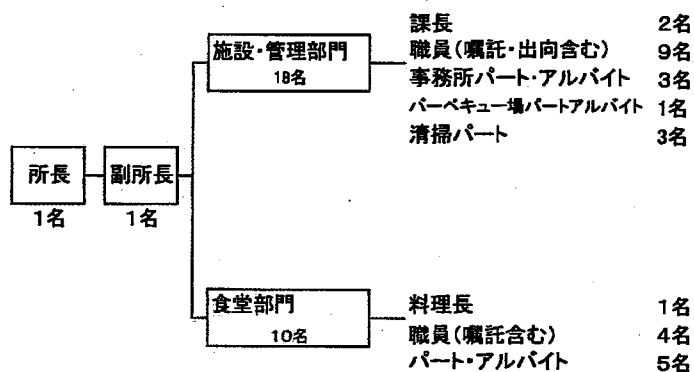
共同事業体を構成する両団体の業務概要については、それぞれの団体ホームページで公開をするほか、求めに応じて、それぞれの団体本部事務局ならびに少年自然の家にて、誰でも閲覧することが出来る。

ホームページ <http://www.osaka-yha.or.jp>
<http://www.yso.or.jp>

3. 危機管理マニュアル
添付資料③参照

添付資料②
1. 組織体制図

令和2年度
管理体制計画書



2. 従業員配置予定表

部門	区分	人数	比率	備考
総括部門	小計	2名	(男 1人、女 1人)	
	職員(所長・副所長)	2名	(男 1人、女 1人)	
食堂部門	小計	10名	(男 6人、女 4人)	
	職員(嘱託含む)	5名	(男 4人、女 1人)	
	パート・アルバイト	5名	(男 2人、女 3人)	
施設・管理部門	小計	18名	(男 12人、女 6人)	
	職員(嘱託含む)	11名	(男 7人、女 4人)	
	パート・アルバイト	7名	(男 5人、女 2人)	
計	小計	30名	(男 19人、女 11人)	
	職員(嘱託含む)	18名	(男 12人、女 6人)	
	パート・アルバイト	12名	(男 7人、女 5人)	